



学校職員（先生方）のしおり

塩尻市のコミュニティ・スクール（CS）は、令和8年で11年目を迎えました。

このしおりは、学校職員の皆さんが塩尻市CSの意義をより深く理解し、子ども達の学びを一層充実したものにしていけるためのものです。

◎ 「共につくる」楽しさを、子ども達の未来のために

「コミュニティ・スクール（CS）」は、法律に基づき、学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む仕組みです。これまで先生方が積み重ねてこられた地域との連携により、今、学校と地域は「頼む側・頼まれる側」という関係から、共に歩む「対等なパートナー」へと進化してきています。先生方の「こんなことができたらいいな」という願いを、地域と一緒に実現することが、これからの塩尻市CSのあり方です。

◎ 塩尻市CSのイメージ

CS!

コミュニティ・スクール、
コミスク…いろんな言い方が
ありますが、CS(シーエス)
と誰もが気軽に言い合えるよ
うになるといいですね！

塩尻市のコミュニティ・スクール(CS)：対話と協働で広がる「子どもたちを支える大人の輪」



© NotebookLM

○より「参画」「協働」の取組になることを願って、今年度より名称を変更しています。

- ・学校支援コーディネーター → **CSコーディネーター**
- ・学校支援ボランティア → **CSボランティア**

○塩尻市で使われている名称と国が発信している名称とは違いはありますが、内容は同じものです。

- ・**地域教育協議会**（塩尻市）＝地域学校協働本部（国） ・ **CS活動**（塩尻市）＝地域学校協働活動（国）

1 今年度のCSの目標

「対話」「参画」「発信」で元氣な学運協を積み上げよう！

これまで10年間に積み上げてきた地域の大人の力を大事にしながら、年4回の学校運営協議会（学運協）の会議や、それ以外でも様々な日常の関わりの中で気軽に「対話」をしながら、先生方、子どもたちと地域が一体となり活動をしていく「参画」と、保護者をはじめ地域の方々へCSを話題にして広める「発信」により、元氣な地域の大人を増やし、元氣な学校・地域にしていくことを目標にしています。

第2回の学運協は多くの学校が、先生方と学運協委員やボランティアの皆さんとの「交流会」を行います。気軽な「対話」から地域の大人の思いに触れ、子どもたちの学びにつながるヒントが見つかる機会にしたいですね。

2 地域を「知る」「感じる」「活かす」

地域との関わりは先生方の「こんな体験を子どもたちと一緒にしたい」「こんな学習が地域の人といっしょにできないかな？」という思いから始まります。地域の大人は、先生方の「願い」や「困っていること」を共有してもらうことを待っています。はじめからしっかりとした計画がなくても大丈夫です。

先生方の思いと地域をつなぐ「橋渡し役」が、各校の職員の一人である「CSコーディネーター」です。まずは、先生方の思いを気軽にCSコーディネーターに相談してみてください。

地域の大人が子どもたちの学びに関わることで、多様な大人の視点が学びに加わることになります。子どもたちには多様な価値に触れる機会になり、先生方も子どもたちの新たな姿を見つける機会にもなります。「共につくる」仲間として地域を活用してください。

3 CSが目指す未来「学校を核とした地域づくり」

「地域とともにある学校」というこれまでの積み上げが、これからは「学校を核にした地域づくり」へとつながっていきます。

地域の大人が楽しそうに関わってくれる姿を見ることで、子どもたちは「大人へのあこがれ」を抱き、未来を想像する力が育まれます。

先生方もまた、地域を構成する大切な一人です。地域と対話し、協働することは、子どもたちの学びを充実させるだけでなく、先生方自身の教育活動の幅を広げ、支えとなる力にもなります。

学校と地域が手を取り合うことで、子どもたちの安心・安全が守られ、主体的・探究的な学びが深まる。その循環がやがて地域の活力になっていく。そんな未来を先生方と共につくっていきたいと考えています。

〇〇〇学校 学校運営協議会

〇〇〇学校 CS コーディネーター：〇〇 〇〇

公用携帯：000-0000-0000

塩尻市教育委員会学校教育課 塩尻市大門七番町4番3号 TEL：0263-52-0280（内線3111）

地域連携コーディネーター 三溝 裕子